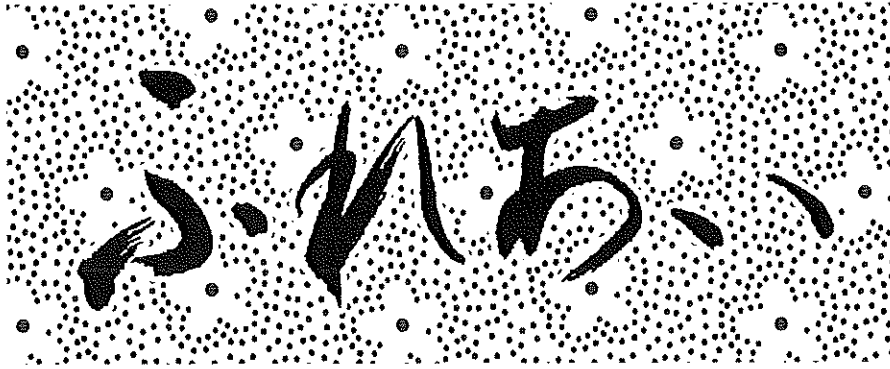


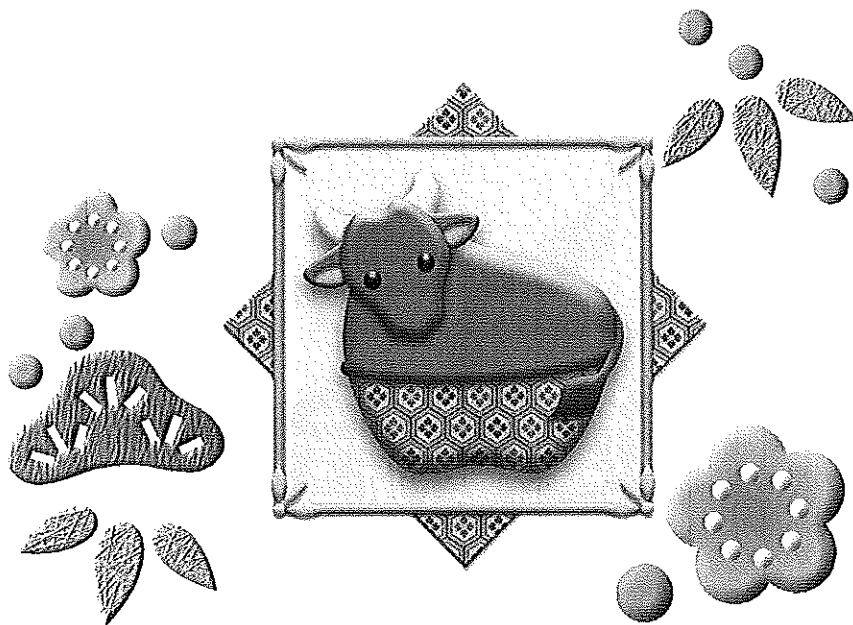
(第46号)

平成21年1月1日

発行 社会福祉法人 知多福祉会  
ふれあいの里  
特別養護老人ホーム  
デイサービスセンター  
編集 広報委員会  
愛知県知多市新知字二股10-1  
TEL(0562)56-1411



新年あけまして  
おめでとうございます



社会福祉法人知多福祉会

理事長 加藤行雄



年のはじめに

施設長 井口邦彦

新年あけましておめでとうございます。

ふれあいの里を支えて頂くご利用者、ご家族、及び関係役職員の皆様には輝かしい年を迎えられ、心よりお慶び申し上げます。

介護保険が始まって八年が経ち、様々な社会環境の変化の中で、介護と医療と年金は、国民的な関心事にあつて展望の見えない課題といわれます。

法改正によつて、介護保険は仕組みが複雑となり要介護者の方にもわかりづらさ、使いづらさが出ているのではと感じております。

また、介護職員等は年間を通じてどの施設にあつても人材不足の傾向となり、ふれあいの里においても例外ではなく大変苦慮している状況であります。

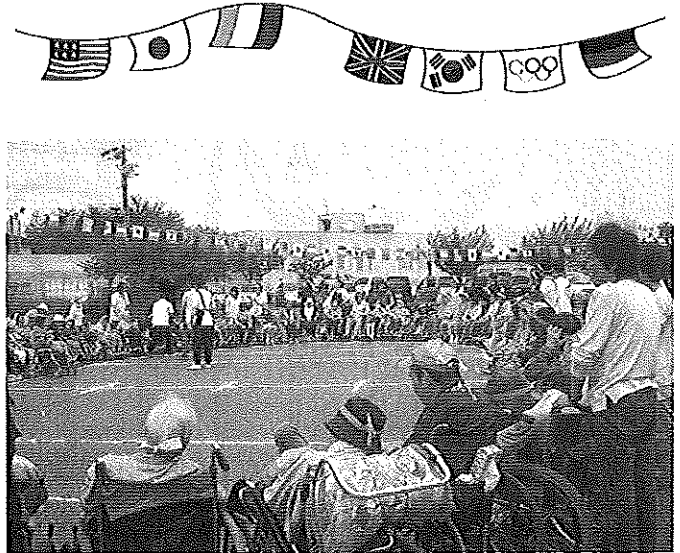
こうした現状も踏まえ制度の持続可能性のために、国は本年四月から新しい介護報酬の見直しを予定していると聞き及んでいます。

ふれあいの里では創設して十八年が経ち、これまで経営を支えてみえた諸先輩方のご熱意のお陰で昨年末に施設整備借入金を全額償還することが出来、感謝していません。

これからは、更に新しい変革にも耐えられる持続可能な施設の経営が求められる時代に入ったと考えます。

安心・安全は基より、高齢者の尊厳を尊重し、喜びや悲しみを把握しながら、一人ひとりの人格に対してサービスを提供する施設でありたいと願っています。

本年も、皆さまの一層のご協力と引き続きのご支援をお願いするとともにご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



十月九日にふれあいの里の運動会がありました。快晴とまではいかないものの暖かかったので体を動かすには最高でした。

パン食い競争では必死に口でパンを食わえようがんばる人、さっと手で取ってしまう人などさまざまです。玉入れは紅白にわかれていたので競技終了後にかごの玉を数える時、自分のチームを応援している人もいました。

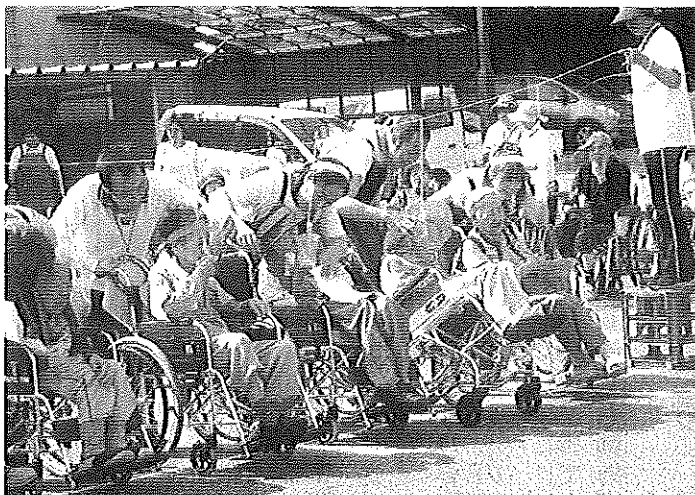


最後のボール送りでは皆さんが一生懸命に隣りの人にボールを渡して、少しでも早く施設長に送ろうとしていました。

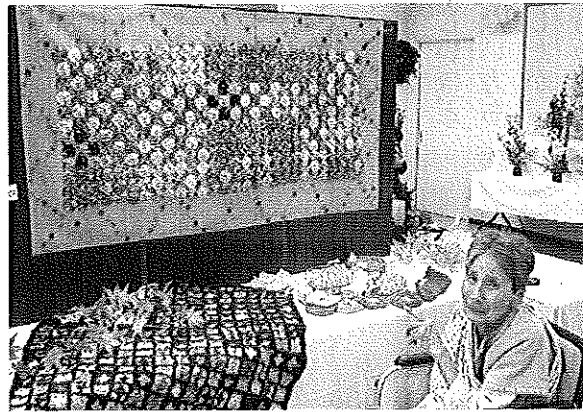
普段は屋外で体を動かすことがあまりないので、良い気分転換になったと思います。

職員・ボランティアの人たちの協力により怪我もなく、無事に終えることができました。

(竹内)



# 文化祭



十一月一日〜五日まで文化の日作品展が行われました。作品展に向けて制作してくださった入所者さんの力作をメインに、デイの利用者の方も協力してくださり、職員の作品も仲間入りし、たくさんのお出品で、とても華やかな作品展になりました。空いた時間等で入所者さんも、観賞にみえ、自分の作品がある事にとっても満足されている様に見えました。「文化の秋」が楽しめた四日間でした。

(岩永)

# お散歩



十一月二十九日に、B棟の外庭に紅葉を見に出かけました。今年は紅葉がきれいに赤色に染まっていて、青空に映えてさらにきれいに見えました。紅葉を持って入所者の方の顔もとてもきれいに写真に写っています。ますます寒くなりますが、天気の良い日は外に出かけるのもいいですね。

(倉橋)

# 鍋料理



寒さが身にしみてくるようになった十一月、今年も鍋料理を行いました。味噌仕立てで、鮭や、白菜・豆腐・うどん等、盛り沢山の食材が入ります。蓋を開けると味噌の香りが胃袋を刺激します。アツアツをフウフウし、気を付けてねと声をかけながら楽しみました。普段と違い食欲の旺盛なこと。今日は特別と大盛りに食べる人や、汁がうまいと何杯もお代わりする人もあり、体も心も温まった一日でした。

(夷)

# デイサービスセンター

## クリスマス会

毎年十二月の恒例行事となつて  
いるクリスマス会を十二月十七日  
からの三日間実施しました。

サンタクロースの乾杯の合図を  
皮切りに、ボランティアの赤井さ  
んによる歌謡ショーやビンゴ大会  
を行いました。なかでもビンゴ大  
会では景品が出る事もあり、あれ  
にしようか、これにしようか事前  
に選んでいる方も見られるほどで  
した。ゲームが始まり数字を読み  
上げる  
とテー  
ブル毎  
から聞  
こえる

一喜一憂の声。  
もどかしいほど  
に揃わない方も  
みえましたが、  
楽しく行う事が  
できました。(希  
望の景品は取れ  
ましたでしょう  
か?)  
(末曾)



## 五平餅作り



「ねえねえこれでいいの?」「ちよつと  
小さいかなあ」「あんたの大きいねえ」  
紅葉が綺麗に色づく季節、いつもに増して  
賑やかなデイサービスでは十一月十八日  
二十一日まで五平餅作りを行いました。「自  
分の食べる分は、自分で作って下さいね」  
と職員言葉に「え〜」「無理だわあ」「で  
きん」と様々な言葉が飛び交い悪戦苦闘し  
ながら、できた五平餅は個性豊かな力作揃  
い。穏やかな秋の日の午後、部屋には香ば  
しい味噌の匂いと、美味しそうに五平餅を  
頬ばる皆さんの笑顔で溢れていました。

(深谷)

## コスモス見学

今年も十月十四(火)・十五(水)・十  
六(木)・十七(金)に秋桜(コスモス)  
の花を見に行きました。

今年は夏が暑かったためか例年より咲き  
始めがやや遅くなり、日程を少し遅らせて  
のコスモス見学となりました。

岡田地区や大興寺地区、阿久比地区など  
を送迎バスで廻り車窓

よりコスモス畑を眺  
めたり、バスから  
降りて写真撮影を  
したり、皆さんそ

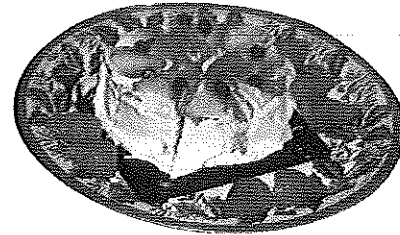
れぞれ秋の風景を  
楽しまれ『綺麗だ  
ね』『もう秋な  
んだね』『花な  
んかどれも一緒?』

などの感想も人それぞ  
れに楽しい一日となりました。

後日、コスモス写真展として廊下に写真  
を展示した時には、参加されなかった方も  
『綺麗だねえ。行けばよかったねえ。』と  
言われていました。ぜひ来年もまた、みな  
さんと一緒に行けるといいなあと思いまし  
た。(永井)



十二月二十二日、クリスマス会が行われました。まず、入所者の方のハンドベルの演奏から始まりました。緊張した面持ちで一息懸命演奏する姿にとっても感動しました。次に、各棟職員による歌や踊りの出し物が行われ、会場は笑顔に包まれていました。最後に、



# クリスマス会



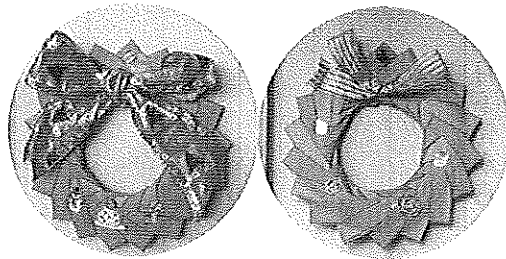
ハンドベルの練習

—音をつないで—

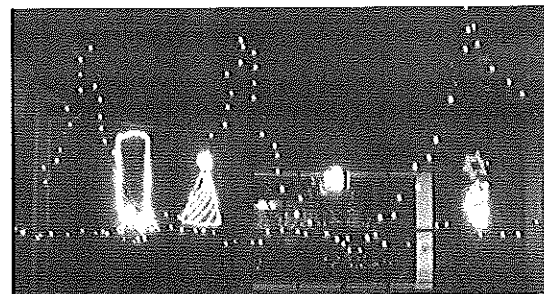
クリスマス会での発表の為に九人のメンバーで練習しています。皆さんの手にあるそれぞれのベルが鳴り、「さくら」のメロディーが流れます。何とも優しい音色です。「春の小川」を本当に素敵に奏でます。幼い日の思い出が曲を一層ひきたたせているのでしょうか。じつとベルを鳴らす時を待ち、一曲の中で一度だけ鳴らす人もいれば何度も鳴らさなければいけない人もいます。前の人から次の人へベルの音が



つながる時何とも言えない幸せな空気が流れ、上手に一曲が終わるととても満足です。若い日を思い出す曲は「荒城の月」や「ローレライ」で懐かしさが一杯になります。皆さんの曲を奏でられるようになりました。多くの方に聴いていただきたいと願っています。



リハビリ室にてリースを作りました。作り始めると二人二人と増え、日頃来られない方も一緒になって活き活きと作られ、あっという間に出来上がりました。



B棟の中庭にあるイルミネーションです



# 幸せを呼ぶフクロウ

知多市赤十字奉仕団の皆様から手作りのフクロウの飾りを頂きました。新年を迎えるにあたり各部屋に飾りました。フクロウは幸せを呼んでくると言われているそうです。この頃の社会状況は何だか不安で、景気は暫く悪くなりそうですし、悲しい事件が起きてばかりいます。



そんな中でもふれあいの里の生活が平穩でありますように、ささやかな幸せを感じる事が出来ますようにフクロウに祈りを込めた気持ちです。平成二十年が無事に過ぎた事を感じ、フクロウを見ては色々な方達に支えられていることを覚えて、平成二十一年の日々を重ねていければと思います。

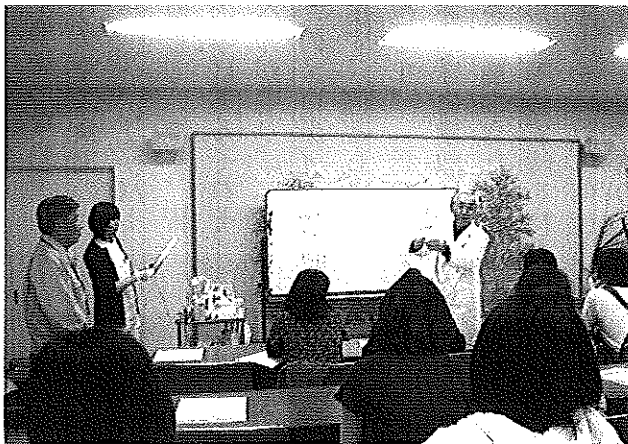
(長谷川)

# 医療安全講習会

平成二十年十一月二十九日、三十日にふれあいの里にて医療安全講習会を行いました。講師に知多市民病院副院長長髯部先生を迎え、医療事故、介護事故について事例をふまえて講義をして頂きました。

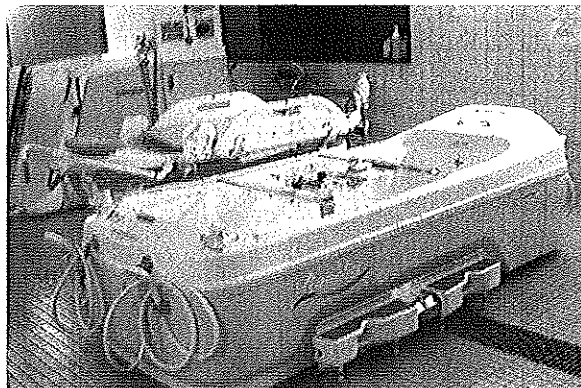
事故が発生しないよう予見し回避することが重要となる為、日々の観察を充分行い、事故予防に努めることで安全で安心して生活できるようにしていきたいと思えます。

(鈴木)



# ホットニュース

創設以来使用してきた寢浴の浴槽が十一月より新しくなりました。浴場の壁も塗り替えられ、皆様により気持ちよく入浴していただけるようになりました。(南条)



# 予防注射実施



十月下旬から十一月にかけて、インフルエンザの予防注射を行いました。入所の方が終わった後、職員も実施。体調を崩しやすい時期なので体調管理に充分注意していきたいと思えます。